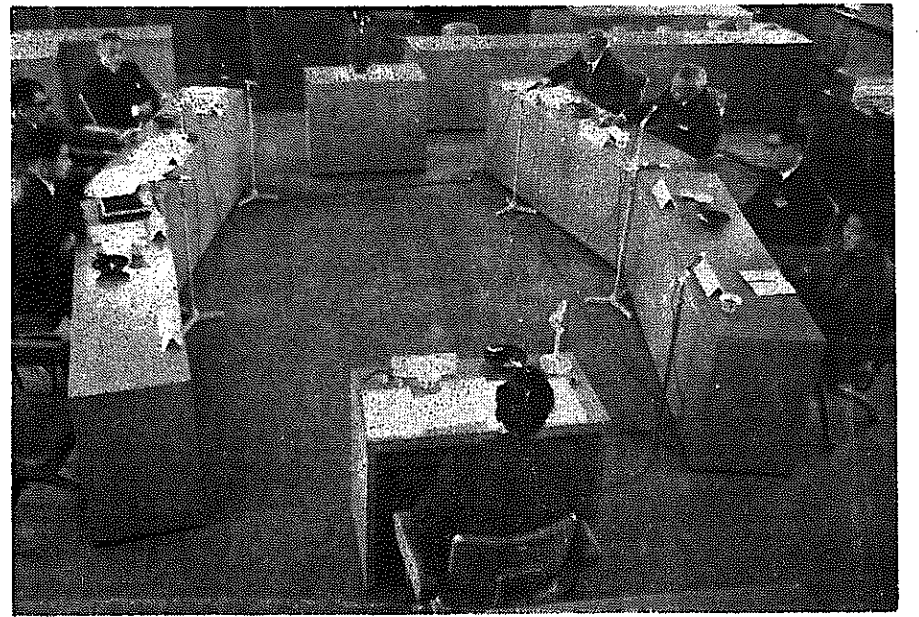


米とわたく

座 談



改革のよりどころは財政

の翌年から古米が減って三十七年八万六千トン、三十八年一萬五千トン、三十九年では一萬三千トンしかなくこれは在庫があるなんていわれない状態なんぞ、発表された米騒動が起きたんではないかと考えられる。大方方針を誤った。それで政府は増産対策をたてなければならぬことになって四十一年に百八十六万トン、四十二年百三十九万トン、四十三年百六十五万トンの在庫量になり、食糧会計赤字が二千四百十五億円、これは一般会計から繰り入れなければならぬ。このため財政が硬直化するのを食糧制度を直しようという事になった。将来に対する見とおしとか計画性もなく、需給体制の確立という長期計画もない場あたり主義である。問題はあまりにも財政優先主義の政策という事だ。

石黒 大蔵省にしろ、農林省にしろ実に巧妙な作戦だと思ふ。生産者に低い米価で納



小林 さん

小林 これはマスコミにも責任があると思ふ。食糧制度の主旨を一つも理解させようとなしないで、金が足りない、

米が余ったという現象だけを補って宣伝している。これは片手落ちである。

米が余っているということ、極めてよるべきことだと思ふ。私はあるところで「日本万歳米の余る国」と黒板に書いてあった川柳を讀んだが、まことにそのとおりだと思つてゐる。島国の中であつた食糧がなかつたら社会騒動が起る。三十九年にはわずか一萬トン余りの米しかなく、東京市民の一日分の消費量である。その時なせ米

自主流通は間接統制へのステップ

がないと宣伝しなかつたか。マスコミは一つも書かなかつた。書けば米騒動が起きたか。もわからなかつた。それから政府が増産運動をやつてきて農産協力ができた。今度は米が余つたので、米を作つた者が悪いように書きたててい

滝沢 米が余つたという理解を私どもは認めてはいけな

米が余つたという現象だけを補って宣伝している。これは片手落ちである。

米が余っているということ、極めてよるべきことだと思ふ。私はあるところで「日本万歳米の余る国」と黒板に書いてあった川柳を讀んだが、まことにそのとおりだと思つてゐる。島国の中であつた食糧がなかつたら社会騒動が起る。三十九年にはわずか一萬トン余りの米しかなく、東京市民の一日分の消費量である。その時なせ米

米が余つたという現象だけを補って宣伝している。これは片手落ちである。

米が余っているということ、極めてよるべきことだと思ふ。私はあるところで「日本万歳米の余る国」と黒板に書いてあった川柳を讀んだが、まことにそのとおりだと思つてゐる。島国の中であつた食糧がなかつたら社会騒動が起る。三十九年にはわずか一萬トン余りの米しかなく、東京市民の一日分の消費量である。その時なせ米

米が余つたという現象だけを補って宣伝している。これは片手落ちである。

米が余っているということ、極めてよるべきことだと思ふ。私はあるところで「日本万歳米の余る国」と黒板に書いてあった川柳を讀んだが、まことにそのとおりだと思つてゐる。島国の中であつた食糧がなかつたら社会騒動が起る。三十九年にはわずか一萬トン余りの米しかなく、東京市民の一日分の消費量である。その時なせ米

米が余つたという現象だけを補って宣伝している。これは片手落ちである。

米が余っているということ、極めてよるべきことだと思ふ。私はあるところで「日本万歳米の余る国」と黒板に書いてあった川柳を讀んだが、まことにそのとおりだと思つてゐる。島国の中であつた食糧がなかつたら社会騒動が起る。三十九年にはわずか一萬トン余りの米しかなく、東京市民の一日分の消費量である。その時なせ米

米が余つたという現象だけを補って宣伝している。これは片手落ちである。

米が余っているということ、極めてよるべきことだと思ふ。私はあるところで「日本万歳米の余る国」と黒板に書いてあった川柳を讀んだが、まことにそのとおりだと思つてゐる。島国の中であつた食糧がなかつたら社会騒動が起る。三十九年にはわずか一萬トン余りの米しかなく、東京市民の一日分の消費量である。その時なせ米

米が余つたという現象だけを補って宣伝している。これは片手落ちである。

米が余っているということ、極めてよるべきことだと思ふ。私はあるところで「日本万歳米の余る国」と黒板に書いてあった川柳を讀んだが、まことにそのとおりだと思つてゐる。島国の中であつた食糧がなかつたら社会騒動が起る。三十九年にはわずか一萬トン余りの米しかなく、東京市民の一日分の消費量である。その時なせ米

に改善していくという意味の発言をしている。それでさし当たつて考えられることは、「買入れ制限と一部自由米の公認」「作付け転換」「地域品種による銘柄格差」「米価の据置きまたは引き下げ」などであるが、どれにしても重要な問題であるが……

滝沢 米一俵増産推進大会で市長がいわれたように、白根市は日本一の米の生産地なんだから誇りを持って米を作つていく方針には変わりはないし、また新潟県は百万トン米作り運動を推進していくんだが、作付け制限うんぬんなどというのには、全く考慮の余地のない基本的な考え方をもっている。

米価決定の関連で基本法農政がでてる。基本法農政とは、農業と他産業との所得が均衡のとれるようにする施策

二十五万ヘクタールの作付け制限の問題がでてくるが、これだけ制限すると百万トンの減収になる。いま千三百五十万トンの米が生産されてゐるが、消費量は千二百五十万トンで、百万トンが年々余ることになる。それで二十五万ヘクタールの作付けを減らせば、差し引き百万トンの減収になるからだ。

食糧会計の赤字が二千億円であるが、二千四百億円

政府手持ち米の数量をいま開いたわけだが、一萬トンそこそこの在庫しかないときもあつた。それがいま余つてきたが長い歴史からみた場合、よほど先を見とおした上でないかぎり、大きな変革をもたらすことは、その心配がないと断言する人ははないと思ふ。

米が足りなくなったときの社会経済不安もなかないようにぶつと先へいっていかないとわからないではないか。

また、うまい米作りがことだが、新潟県の米はうまいんだというのを、いまから築き上げていくことが必要である。うまい米は反収が少ない。まず米は反収が多いという矛盾をどうしようか、うまい米作りを結びつけていくか、むづかしいところである。

市長 米は商品なんだからうまい米を作つて、消費者のみなさんに食べてもらうように生産者としても努力しなければならぬと思ふ。先日、米一俵増産大会でも、白根市の土壌の条件からすれば奨励品種の三越程度でも十アール当たり七百五十キログラムの収穫は、だいじょうぶと改良普及所でも自信を持っていつている。

品種を作つたらよいかという問題がでてくるし、同じ品種によつて格差がでた場合、こゝろ、北海道と新潟ではまるっきり違うものが生産されるから、どこで基準を設けていかわからないことになる。

司会 米の供給過剰が一昨年から始まり、ややそのさびがみえ始めていたが、全国的には開田が進められているというように、政府の農林行政に対する方針は、全くチグハグなところがある。政府の農政に対する姿勢を正すために望むことはなにか。

小林 米の統制を撤廃した

をよい米といひ、業者はつきり減りしない米がよい米といつている。

品種によつて銘柄格差を設けるか、それとも越後米とか大川米とか庄内米とかの産地によつてそれを設けるか、そこにも問題がある。産地によつて設けた場合、新潟県は何

滝沢 新潟県産米は西日本地方の米よりは、うまいと一般にいわれてゐる。それからいふと、うまいといふのは科学的に分析がむづかしいが、普通うまい米といふのは、ねばりがあるかないか、でまるといわれる。また政府は目減りの少ない水分の少ない米

食糧管理がなくなれば、米の流通は自由になる。米の流通は自由になると、米の価格は自由競争で決まる。米の流通は自由になると、米の価格は自由競争で決まる。米の流通は自由になると、米の価格は自由競争で決まる。

政府手持ち米の数量をいま開いたわけだが、一萬トンそこそこの在庫しかないときもあつた。それがいま余つてきたが長い歴史からみた場合、よほど先を見とおした上でないかぎり、大きな変革をもたらすことは、その心配がないと断言する人ははないと思ふ。

米が足りなくなったときの社会経済不安もなかないようにぶつと先へいっていかないとわからないではないか。

また、うまい米作りがことだが、新潟県の米はうまいんだというのを、いまから築き上げていくことが必要である。うまい米は反収が少ない。まず米は反収が多いという矛盾をどうしようか、うまい米作りを結びつけていくか、むづかしいところである。

市長 米は商品なんだからうまい米を作つて、消費者のみなさんに食べてもらうように生産者としても努力しなければならぬと思ふ。先日、米一俵増産大会でも、白根市の土壌の条件からすれば奨励品種の三越程度でも十アール当たり七百五十キログラムの収穫は、だいじょうぶと改良普及所でも自信を持っていつている。

品種を作つたらよいかという問題がでてくるし、同じ品種によつて格差がでた場合、こゝろ、北海道と新潟ではまるっきり違うものが生産されるから、どこで基準を設けていかわからないことになる。

司会 米の供給過剰が一昨年から始まり、ややそのさびがみえ始めていたが、全国的には開田が進められているというように、政府の農林行政に対する方針は、全くチグハグなところがある。政府の農政に対する姿勢を正すために望むことはなにか。

小林 米の統制を撤廃した

をよい米といひ、業者はつきり減りしない米がよい米といつている。

品種によつて銘柄格差を設けるか、それとも越後米とか大川米とか庄内米とかの産地によつてそれを設けるか、そこにも問題がある。産地によつて設けた場合、新潟県は何

滝沢 新潟県産米は西日本地方の米よりは、うまいと一般にいわれてゐる。それからいふと、うまいといふのは科学的に分析がむづかしいが、普通うまい米といふのは、ねばりがあるかないか、でまるといわれる。また政府は目減りの少ない水分の少ない米

食糧管理がなくなれば、米の流通は自由になる。米の流通は自由になると、米の価格は自由競争で決まる。米の流通は自由になると、米の価格は自由競争で決まる。米の流通は自由になると、米の価格は自由競争で決まる。

食糧管理がなくなれば、米の流通は自由になる。米の流通は自由になると、米の価格は自由競争で決まる。米の流通は自由になると、米の価格は自由競争で決まる。米の流通は自由になると、米の価格は自由競争で決まる。

食糧管理がなくなれば、米の流通は自由になる。米の流通は自由になると、米の価格は自由競争で決まる。米の流通は自由になると、米の価格は自由競争で決まる。米の流通は自由になると、米の価格は自由競争で決まる。

でもらうような運動をしなければならぬと思つてゐる。

食糧法の理解が必要

田沢 婦人の間に

山田 市の農政対策協議会として、この問題を取り上げて部会説明会を開いて、できるだけみなさんに理解してもらつて、PRしたいと思つてゐる。

それから、農協は生産面への進出はもとよりであるが、流通機構や共販体制を確立するために、早い機会に統合した方がよいと思つてゐる。食糧制度の堅持も、農協の協賛も必要だと思つてゐる。うんぬんと思つてゐる。

市長 今後運動を進めて行く上には、一番大事なのは、制度そのものについてのみなさんの正しい理解というものが背景になる。その背景がないと行政の立場で運動しても力がない。なにをさておいてもみなさんのいわれるように、食糧制度そのものの理解が得られるように、あらゆる手段を講じてPRしていかなければならぬ。

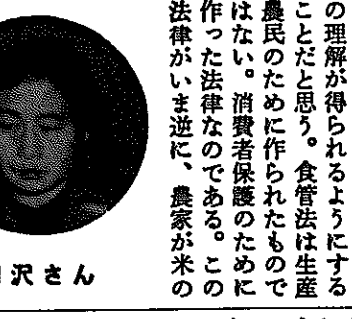
県の段階でも実行委員会が組織されて、積極的な運動を展開されているが、幸い県の市長会でも運動しているのだから、県と提携してその成果をあげていきたい。

司会 まだいろいろと意見もあろうかと考えるが、この辺で座談会を閉じたい。長時間にわたつてもありますが、ごさいます。

誇りを持って米を作ろう

わが白根市としてもそういう方向で、生産者自身努力していく必要がある。ただここで考へてもらいたいのは、消費者にはいる米がうまくなければ、はたして生産者のためか、という事である。私は必ずしもそうではないと思ふ。現在の倉庫事情からいって、当然の面があるだろうし、米のまぜ方にも問題がある。配給米がまずいのを、すべて生産者のせいにするのは改めてもらいたい。

滝沢 新潟県産米は西日本地方の米よりは、うまいと一般にいわれてゐる。それからいふと、うまいといふのは科学的に分析がむづかしいが、普通うまい米といふのは、ねばりがあるかないか、でまるといわれる。また政府は目減りの少ない水分の少ない米



田沢 さん

値段を上げるためにこれを堅持するのだという理解を招いている。これは全国的な問題である。したがって食糧法に対する理解を深め正しく認識をして本市は丸とらなつて進んでいく必要がある。全国的な問題である。したがって食糧法に対する理解を深め正しく認識をして本市は丸とらなつて進んでいく必要がある。



皆沢 さん

食糧管理がなくなれば、米の流通は自由になる。米の流通は自由になると、米の価格は自由競争で決まる。米の流通は自由になると、米の価格は自由競争で決まる。米の流通は自由になると、米の価格は自由競争で決まる。

食糧管理がなくなれば、米の流通は自由になる。米の流通は自由になると、米の価格は自由競争で決まる。米の流通は自由になると、米の価格は自由競争で決まる。米の流通は自由になると、米の価格は自由競争で決まる。